



『言海』と『大言海』、ともに初版です。『言海』初版本は10年ぶりの公開
1月いっぱいテーマ展示室「文彦と言海」に展示しています

明治24(1891)年、日本初の近代的な体裁を整えた国語辞書が完成しました。大槻文彦による『言海』です。文彦が考えた辞書とは発音、語別(品詞)、語原(単語のもと)の形や意義、語釈、出典の五つが示された50音順の普通語辞書でした。この辞書の完成のために文彦は日本語文法を考え、言葉をたずね歩き、一語一語執筆と推敲を繰り返していったのです。着手から16年かかっています。そして『言海』完成直後からその体裁を規範とした国語辞書が続々と世に出されるようになります。その系譜を受けて現代も国語辞書は出版され続けているのです。国語辞書の原点、それが『言海』なのです。

それから21年後、すでに66歳に達していた文彦はもう一度新たな国語辞書作りを開始します。この時には国語辞書が数多く出版されていたこともあって、文彦は別な視点で辞書を作る決意をしました。語原に重きを置く、というものでした。それからは寸暇を惜しんで新しい辞書作りで没頭しますが、昭和3(1928)年、82歳で志半ばに世を去りました。くしくも『言海』完成に要した年月と同じ16年後のことです。

この時完成稿は「あ、か、さ」の3行でしたが、文彦の兄如電がこの仕事を引き継ぐに当たって語った通り、この3行で言葉全体の3分の2に当たるので、残りは文彦の草稿を整理して昭和10年に辞書を完成させました。これが『大言海』です。今でも語原を語る場合には、『大言海』がよく引用されます。文彦は生涯2種類の国語辞書を独力で作り上げたのです。言葉に対する愛着と執念がそこには感じられます。今年文彦が亡くなって80年目に当たります。日々生み出される新しい言葉、静かに忘れられていく言葉、めまぐるしく変わっていく現代の言葉を、文彦はどのような想いで眺めていたのでしょうか。

※大槻如電『大言海刊行緒言』(大言海所収)

掲示板

「掲示板」は毎月1日号に掲載します。
次回2月1日号の締め切りは1月10日(木)です。
詳しくは、本庁秘書広報課広聴広報係 ☎21-8182へ。

❖ シニアスキー教室参加者募集 ❖

- 冬のシニアライフをスキーで楽しみませんか。初心者から上級者までどなたでも参加できます。全日本スキー連盟公認指導員が、技術に応じて安全で楽しいスキー技術の講習を行います。
- ◆日時…1月20日(日) 9:30~15:00
 - ◆場所…まつるバスノーランドスキー場(9:10集合)
 - ◆参加費…2500円(リフト、昼食代は含まれません)
 - ◆対象…男性55歳、女性50歳以上
※スキー経験、技術は問いません
 - ◆受付期限…1月13日(日)
 - ◎申込先・問い合わせ先…まつるペゴールドスキークラブ 古川 ☎24-2442
または鹿野 ☎24-2388

❖ 新春経済講演会 ❖



- ◆日時…1月22日(火) 14:00~15:30
- ◆会場…ペリーノホテル一関
- ◆テーマ…「政局激動…どうなる日本の未来」
- ◆講師…末延吉正さん(政治ジャーナリスト、立命館大学客員教授)
- ◆聴講料…無料
- ◎問い合わせ先…一関商工会議所 ☎23-3434

❖ 舞草刀研究会新春名刀鑑賞会 ❖

- 名刀鑑賞会と刀剣の手入れを行います。入場は無料です。
- ◆日時…2月2日(土) 13:30~
 - ◆会場…一関文化センター小ホール
 - ◆名刀鑑賞会…鑑賞刀(古刀・新刀・新々刀)、入札鑑定
 - ◆刀剣の手入れ…当日会場にて、大切な文化財を後世に残すため、会員以外の刀剣も持参いただければ無償で手入れします
 - ◎問い合わせ先…舞草刀研究会事務局 佐藤 ☎28-2370

❖ 凧作り教室・子供手作り凧揚げ大会 ❖

- 手作りたこを持って集まり、元気いっぱい大空高く揚げよう！温かいおやつも用意しています。
- 【やさしい凧作り教室】
- ◆日時…2月9日(土) 13:00~16:00
 - ◆会場…青葉集会所(山目公民館となり)
 - ◆参加料…無料
- 【子供手作り凧揚げ大会】
- ◆日時…2月11日(月) 受け付け12:30、大会13:00~14:30
 - ◆場所…磐井川河川公園(山目側)
 - ◆対象…園児・小学生とその家族
 - ◆参加料…無料
 - ◆内容…手作り凧揚げコンテスト(デザイン賞・高度賞・ファミリー賞)
 - ◆申し込み…凧作り教室・凧揚げ大会共に1月31日(木)までにはがきまたはファクスで住所・氏名・学校名・学年・保護者名を記入の上、下記まで申し込みください。
 - ◎申込先・問い合わせ先…一関ライオンズクラブ事務局 〒021-0031 一関市青葉1-5-2 ☎/FAX23-4445

❖ 太極拳・中国語・中国の歴史の各講座 ❖

- 日本中国友好協会一関支部では、日中友好のための市民講座を次の通り開催します。会場はいずれも一関文化センターです。
- 【太極拳講習会】
- ◆日時…1月~3月の毎週火曜18:30~20:00
- 【中国語講座】
- ◆日時…1月~3月の第1・第2・第3金曜15:00~16:30
- 【悠久5000年中国の歴史講座】
- ◆日時…1月~3月の第4金曜18:30~20:00
- ◎問い合わせ先…同事務局 島貫 ☎25-4167

❖ 20年度NHK学園学生募集 ❖

- NHK学園では、広域通信制高校、福祉通信教育および生涯学習通信講座の学生・受講者を募集しています。まずは無料の案内書・願書を請求ください。
- ◆募集内容…①高校普通科(NHKの放送を利用して3年で高校卒業資格取得) ②専攻科社会福祉コース(介護福祉士受験資格取得・2年制) ③社会福祉士養成課程(社会福祉士受験資格取得・2年制) ④生涯学習通信講座(趣味から資格まで全200コース以上)
 - ◆受付期間…①2月1日(金)~4月20日(日) ②一次募集:1月21日(月)まで、二次募集:2月20日(水)~3月17日(月) ③一次募集:1月23日(水)まで、二次募集:2月1日(金)~3月5日(水) ④通年申し込み受け付け
 - ◎問い合わせ先…NHK学園 ☎042-572-3151(代表)、案内書請求フリーダイヤル ☎0120-06-8881

一関市博物館案内 ☎29-3180 ホームページhttp://www.museum.city.ichinoseki.wate.jp

*講座などの申し込みは、電話で先着順

新一関市合併記念特別展 一関の文化財展 ―地域が守り伝えた重宝―



金銅薬師如来像御正体
(花泉町・養寿寺蔵)

長く地域で保存されてきた文化財。それらは地元の文化の足跡であり、時代の証言者でもあります。旧7市町村が合併し新しい一関市が誕生したのを機会に、市内に所在する文化財の数々を県指定文化財を中心に展示・紹介します。

- 会期:1月19日(土)~3月23日(日)

■講演会 磐井の文化財
日時:1月26日(土) 13時30分~15時30分
講師:大矢邦宣盛岡大学教授

第6回
「和算に挑戦」回答を募集
江戸時代の数学II和算の問題に挑戦してみませんか。応募者全員に解答集と記念品を進呈します。詳しくは博物館ホームページをご覧ください。

- 受付期限:1月31日(木)

ふなの雫



市長 浅井 邦彦

東山町商工会青年部の皆さんが制作した、ふるさとCM大賞参加作品を見せてもらいました。「ふるさと愛」をテーマにした心温まる内容で、作り手の皆さんがふるさとを愛し大切に思っていることが伝わる作品でした。

先日、テレビで第二次大戦後にシベリアに抑留された人々を描いた番組を見ました。極寒の地で強制労働させられた人たちの心を支えたのは「ふるさと」でした。なんととてもふるさとに帰りたいという一念が極限状態の中で生きる支えであり、ふるさとという存在の大きさに感じ入りました。

「ふるさと」は遠くにおいて想うものという歌のように、ふるさとのありがたは、遠くにおいて帰ることのできない人こそ強く感じ、ふるさとにずっといる人には、そのありがたを実感するのは難しいことかもしれません。

少子高齢化、限界集落など、今ふるさは課題が山積しています。富める人にも貧しい人にも、ふるさは何事にも代えられない財産。ここに住む私たちが固有の歴史文化、自然などに恵まれたふるさとの価値を再認識し、次の世代に確実に受け継がなければ―と改めて心に刻みました。

(写真・秋の園遊会にて)